

札幌型ものづくり開発推進事業成果事例紹介

- Q1** 開発事業はいつ頃から、どのようなことを背景として、何を目的に始められたのでしょうか。
- Q2** 開発事業において困難だったことと、その困難を乗り越えたパートナーシップや創意工夫について教えてください。
- Q3** 開発事業の成果はどのように展開される計画でしょうか。市場規模や売り込み先の見込み、展開方法などを教えてください。

②北海道産ネギ末利用資源由来機能性素材の開発

株式会社アミノアップ化学

Q1 開発事業の目的・背景

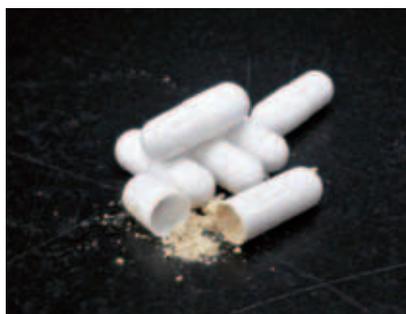
2012年4月から開発に着手しました。(独)農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)の研究において長ネギの粘液に免疫賦活効果があることが示され、製品化に向けた研究開発を共同で行うこととなりました。長ネギは北海道でも栽培が盛んであり、古来、民間療法に使用されてきた食材でもあります。新たな免疫賦活素材の開発を通して、国民の健康維持・増進に貢献すると同時に、道産の農産物を高付加価値化することにより、道内の地域経済の活性化を目的として開発を行っています。

Q2 開発事業の経過

免疫賦活活性が認められたのは長ネギ葉身部の粘液でしたが、粘液のみを取り出して製造するというのは時間・コスト面から考えて得策ではありません。よって、葉身部をそのまま熱水抽出することにしたのですが、洗浄や裁断、加熱といった複数のステップがある生産工程において、活性が維持されるかが課題でした。また、実験室レベルと工場レベルでは結果が異なる可能性もありました。その点については、農研機構や弊社製造部と共同で検討を重ねることにより、活性を失活させることなく実生産が可能となりました。

Q3 事業展開

弊社の既存製品で同じく免疫賦活作用を有する「AHCC」との合剤として商品化を考えており、現在その併用効果を見出す研究を行っています。対象者としては高齢者を第一に考えています。高齢者は免疫力が弱くなっているため、日和見感染症を発症しやすくなっています。また、臨床現場では食事の際の誤嚥による誤嚥性肺炎が問題となっています。高齢者が当該商品を摂取することで免疫を維持し、感染症などから身を守ることができるようになれば、高齢化社会に大きく貢献できるのではないかと考えています。



会社情報

会社名／株式会社アミノアップ化学
住 所／札幌市清田区真栄363番地32
TEL／011-889-2277 FAX／011-889-2288
代表者／代表取締役社長 藤井 創
創 立／1984年6月19日
従業員数／58名
URL／<http://www.aminoup.co.jp/>